

を貯藏す、各貯藏所の底部には板を張り材料の無駄になるを防いだ。

砂利貯藏所と道を挟んでセメント小屋が設けられる、貯藏床面は道路と同一の高さを保たしめ道路と直接の出入に便す。之の床面より9呎下部にミキサーを設く、ミキサーの大きは1立方碼=27才練り一臺とす、之の敷より尚ほ7呎下部が80尺木製塔の底部である、バケツは8立方呎入れのもので之れを80呎引き揚げに對しては電力を使用し20馬力のモーターを用ふ。

之の塔に引き揚げられたるコンクリートは直接chuteによつて各所に配置さる、直接各所に之のchuteによつて配置さる外に手車に受けそれを小運搬された處もある。

鐵道は之の附近まで来て居つたがそれより現場までは凡て道路を利用された、砂利類の置場とセメント倉庫との間に幅8呎の専用道路を布設し各置場は道路と同一の高さである、砂利類をミキサーの處に運搬するには手車を用ふ道路を横斷するには假り道(板敷き)を作り其の上を通交せしむるものとす。

## 白木屋の改修工事

昨冬大火災を起した日本橋の白木屋では 其後監督官廳の指示に基き防火、防煙、避難の點に就て高層建築として最新の設備を完ふすべく改修工事中であつたが、此程それが竣功を見るに至つた。改修された白木屋の設備は大要次の通りである。

1、**防火的區分** 萬一火災が起つた場合でも、其部分だけで喰ひ止めて被害を僅少にするため各階を三つに區分した、即ち全館27に區分され、火災が起つた場合一ヶ所だけ焼けても他の部分には延焼しない設備である。

2、**防煙設備** 昨冬の火災が瞬間に大火になつたり又犠牲者を出したりしたのは猛火よりも寧ろ煙の爲であつたから、その貴重な實驗に鑑み 今度の改修では特に防煙に留意し、なるべく吹抜を取り止め各階階段口及エレヴェーターには防煙設備を施した。

3、**耐火的床** 床は從來木張りが多くそれを毎日油で拭き込んであつたが、昨冬の火災に黒煙濛々となつたのはその油のためで且つ引火が早かつたのも俱

に此の床の故である事が判明したから、今度は木張りを止めて床を大理石又はコンクリートに改造した

4、**耐火間仕切** 從來の間仕切は木材を使つてあつたが、鐵網コンクリート塗に改めた。

5、**警報機新設** 各階に數箇所宛發火警報機を新設した。これはボタンを押せば白木屋の何階の何處に火災が起つたと直接警視廳に通報出来る設備である。

6、**消火栓** 從來各階にあつた消火栓の外にそれと並列して特別消火栓を新設した。これは消防隊のパイプに連結出来る仕組ではあるが、消防隊が来るまで素人でも簡単に使へる様になつてゐる。

7 **セルロイド賣場特別室** 此室はセルロイド玩具の様に引火性の高い商品を安全に陳列出来る様にコンクリート壁と防火扉で仕切つて獨立させてある。尙天井にスプリンクラーを設け萬一出火した場合華氏200度の熱を受けると16箇の噴水口から自然放水して消火する設備を施した。

8、**非常階段** 屋上から地上に通する非常避難階段は、日本橋通り交又點の角、平松町通り昭和通寄角木原店通り等新舊合せて7箇所設け何れも各階に通じてゐる。その他の階段も全部改修を施した。

9、**バルコン増設** 窓の外のバルコンが非常時に際し人命救助に非常に役立つのは先般の經驗に徴して明かだから三階以上の各階にバルコンを増設し、それを傳つて非常階段に行ける様になつてゐる。

10、**非常口増設** 西館各階手洗の奥及六階電話室の角に非常口を増設し此處から直接伴傳寄りの外部に避難して非常階段に行ける様にした。又中央吹抜北側の採光窓からも直接外部に出て非常鐵梯子で避難出来る。

11、**窓の改造** 各階硝子窓は從來の連絡開閉式が非常時に不便であることが先般の火災で判つたから今度の改修では連絡式を廢して普通の上下窓に改造した。消火に際してのホース引込にも避難にも上下式が便利である。

以上が防火防煙避難に就ての重要な點である。昨冬の災害はまことに悲しむべきものではあつたが、丁度震災が耐震構造の發達を促した様に、白木屋の火事が高層建築の防火装置に對して大きな警報を發し、それが研究と進歩との機因となつたことはたしかであるから、餘り經驗として久遠に紀念さるべきであらう。(一記者)